

都電「荒川線」に乗って

渋谷から副都心線で雑司が谷に行き、近くの鬼子母神堂を訪ねた。風情のあるケヤキ並木がつづく参道とともに、境内の大イチョウが見ごたえがあった。この大イチョウは樹高 33 メートルあり、樹齢 700 年の東京都指定天然記念物という。

鬼子母神前駅から都電に乗り、終点の三ノ輪橋まで行った。運転席のすぐ近くに座り、東京の下町風景を眺めながら、路面電車の「旅」を楽しんだ。東京都交通局が運行する都電は 1972



年に廃止されたが、三ノ輪橋と早稲田を結ぶ荒川線だけ唯一残った。短い間隔で運転されており、「まちの足」として利用客も多い。お年寄りだけでなく、ベビーカーに子どもを乗せた若い女性も目についた。



超高層サンシャイン 60 が見える東池袋 4 丁目から「とげぬき地蔵」で有名な巣鴨、そして飛鳥山あたりを通過して荒川区に入る。線路脇のきれいな花壇が印象的である。三ノ輪橋駅には、緑のアーケードがあり、終着駅としての趣きを感じられた。駅からジョイフル三ノ輪商店街が続いている。この商店街はなかなか活気があり、総菜屋なども多く、東京らしい下町情緒を感じさせてくれる。



商店街を通過して荒川区役所、三河島の方に向かった。三河島というと、かつての国鉄の大事故を思い起こすが、「下町の中のコリアンタウン」としても知られている。都電荒川線の「旅」で東京の原風景の一面を味わうことができた。

(2009年6月11日 記)